

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|--|----|---------------|-----|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 6 | 1 | 1 | パニックルームにあるプリンターを動かしたい。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 3 | 4 | 1 | 以前は足りていないと思いましたが、今は適切だと思います。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 3 | 3 | 2 | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 3 | 2 | 3 | 社員の方向士ではやられていると思うが、非社員が参画できていないのが残念。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | 2 | 2 | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | 2 | 1 | わかりません。 毎年ホームページで公開している。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 3 | 4 | |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 1 | 1 | 6 | 時間がない。 時間を見つけて、その都度「どのように支援をしたら、するべきだったか」聞くようにしている。 50冊ほどの専門書を常時置き、自由に読んだり、貸し出ししたりできるようになっている。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 4 | 1 | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 5 | 2 | 1 | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 1 | 5 | 2 | バイトでも参画できる形をとってほしい。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 6 | 1 | 1 | |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 3 | 4 | 1 | |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | 3 | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | | 3 | 4 | 打合せ等の時間は無いので子どもたちの連絡帳のコピーを見て、昨日、または帰った後確認している。 社員はしているが、バイトも参加したい。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | 3 | 5 | 社員はしているが、バイトも参加したい。 打合せ時間を待つ前に日々情報交換と意見交換をそれぞれの職員と行ない、申し送りノート等で共有している。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | 3 | 1 | 連絡帳を中心に記録している。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 2 | 4 | 1 | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 3 | 3 | 1 | |
| | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 2 | 5 | | |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 5 | 3 | | 子どもの安全を第一に行なっていると思う。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 2 | 4 | 1 | 医療的ケアが必要な児童がいない。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 2 | 5 | 1 | 情報共有はされていると思う。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 2 | 4 | 1 | 卒業者がまだいない。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | 6 | 1 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 4 | 4 | 普通級に通っているお子さんが多く、学校で交流できている。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 2 | 2 | 3 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 6 | 2 | | 支援の内容について連絡帳や送迎時に伝えるようにしている。送迎時や連絡帳でコミュニケーションをとり、共通理解を心掛けている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 3 | 3 | 1 | 社員の方が面談等で行っていると思う。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 4 | 4 | | 体験等で来られた方への話を聞いていると、とても丁寧と思う。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | 2 | | 「学習についての悩み?」については聞かれるが、私自身これから「支援の仕方」「方法」を学習していきたい |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 4 | 4 | 大切と思う反面、通所していることを知られたくない保護者もいると思う。難しく感じる。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | 1 | 1 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | 6 | 2 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 5 | 3 | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 7 | 1 | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 5 | 2 | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 3 | 4 | 1 | リスクマネジメントを含め、とても良くなっていると思う。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 3 | 5 | | 定期的かどうかわからないが、訓練は行なっていると思う。消防署員を招いて、訓練を行なっている。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 2 | 4 | 2 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 1 | 5 | 1 | 該当なし |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 2 | 6 | | 重いアレルギー症状のある児童がいない。アセスメントシートに記載されている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | 3 | | |